

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、週初から11月分の新積み期間に入ったものの、当座預金残高が週を通して160兆円台で推移したことから資金余剰感は強く、無担O/Nは週を通して落ち着いていた。中心の出会い、月曜から木曜までは大手行が0.06%近辺、地銀・信託業態が0.06%台前半であった。週末は4日間の積みとなることから、大手行は0.065%近辺、地銀・信託業態が0.06%台後半と若干レートが上昇した。無担保コールO/N加重平均レートは0.06%半ば~0.06%台後半での推移となっていた。ターム物は、大手証券からは年越えの調達、大手行からは1M程度の調達が散見された。固定金利方式の共通担保資金供給オペは20日にオファーされ、3M・8,000億円のオファーに対して、応札額2,650億円と札割れになった。期落ち分を下回ったことで、25日のオペ実行日における共通担保オペ残高は7兆9,977億円となり、8兆円台を下回ることとなった。18、19日には金融政策決定会合が開催され、金融調節方針の現状維持が8対1の賛成多数で決定された。

今週は資金需給としては若干のマイナスであるものの、各種のオペが実行されるため、週全体では大幅な余剰となる見通し。週前半に行われると考えられるオペを加味すれば、月末の当座預金残高は170兆円台になることが予想される。主要な経済イベントとしては、28日発表の10月全国CPI等が挙げられる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、短国買入オペでの売却を見込んだ業者の買いに加え、海外勢の買いも見られたことで、全般的に品薄感が強く、閑散とした地合いとなる中、マイナス金利での取引が続いていた。18日に実施された1Y物の入札は、WI取引においてマイナス圏で出合っていたこともあって、結果は平均落札利回▲0.0029%、最高落札利回▲0.0009%と1Y物としては初めてマイナス圏での決着となった。20日の3M物は、WI取引で▲0.040~▲0.030%の出会いが見られる中、平均落札利回▲0.0142%、最高落札利回▲0.0037%と需給の逼迫を反映した結果となった。ただ、その後は0%付近までレート水準が戻るなど、やや慎重な姿勢も見られた。21日に実施された短国買入オペは、2兆5,000億円でのオファーとなり、平均利回較差▲0.008%、按分利回較差▲0.03%という結果になった。市場に品薄感が漂う中、若干多めのオファー額であったが、先週は入札が2本あったこともあって、応札額は34,860億円と比較的多めであった。週末の気配は、全般的に若干のマイナス圏で推移していた。

先週のCP市場は、年末の資金需要が出てくる中、今年の1月以降激減していた紙・パルプ業態の発行再開等が見られた。ガス・電機・商社業態等からは大型発行が実施され、入札ベースの週間発行額は1兆1,000億円程度まで膨らんだ。週末の発行総残高は、約15兆8,000億円と見込まれる。発行レートの目線は、a-1+格では概ね0.08%前後、a-1格では0.09%前後が中心となっていた。

今週の短国市場は、27日に3M物の入札が予定されている。短国買入オペを見込んだ買いにより、引き続き強めの結果が見込まれる。CP市場は、25日にCP等買入オペが予定されている。これまでに2度実施された新方式入札では、2度とも平均と按分が旧方式に比べて乖離しており、今回も同様の結果となるかが注目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で4,700億円程度の発行超見通し。財政資金は、25日のTB3M発行超過や28日の40Y発行、地方譲与税交付等を中心に1,500億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で3,200億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。＜25日＞TB3M;償還54,000億円・発行57,000億円/流動性供給;発行4,000億円/国営林野事業借入;新規500億円＜28日＞40Y;発行4,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円/預保借入;期日1,100億円・新規1,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
11/24 (月)				振替休日				
11/25 (火)	△ 100	△ 2,700	△ 2,800	全店共通 (固) 国債買入	△ 4,000	2,700 12,100	10,800	8,000
11/26 (水)	△ 1,000	0	△ 1,000	短国買入 国債買入		25,000 8,000	33,000	32,000
11/27 (木)	△ 2,000	△ 1,000	△ 3,000				0	△ 3,000
11/28 (金)	△ 1,600	5,200	3,600	CP買入	4,000		4,000	7,600
週間合計	△ 4,700	1,500	△ 3,200		0	47,800	47,800	44,600

(注) 上表の11/25は日銀予想、11/26以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
11/24 (月)	振替休日		
11/25 (火)	金融政策決定会合議事要旨 (10月31日分8:50) 10月の企業向けサービス価格指数 (日銀 8:50) 月例経済報告 (内閣府) 名古屋での経済界代表者との懇談にて黒田総裁講演 パリ・ユーロプラス ファイナンシャル・フォーラムにて中曽副総裁講演		7-9月期の米GDP改定値 9月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 11月の米CB消費者信頼感指数
11/26 (水)	広島県金融経済懇談会にて白井審議委員講演	40Y 4,000億円 11/28発行	交付税借入 10,500億円 12/4借入
11/27 (木)		TB3M 57,000億円 12/1発行	10月の米新築一戸建て販売件数 10月の米個人所得・消費支出 10月の米耐久財新規受注 7-9月期の英GDP改定値
11/28 (金)	10月の労働力調査 (完全失業率 総務省 8:30) 10月の全世帯家計調査 (総務省 8:30) 10月の一般職業紹介状況 (=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 11月都都区・10月全国消費者物価指数 (CPI 総務省 8:30) 10月の商業販売統計速報 (経済産業省 8:50) 10月の鉱工業生産・出荷・在庫速報 (経済産業省 8:50) 10月の住宅着工統計 (国土交通省 14:00)	2Y 27,000億円 12/15発行	11月のシカゴPM景況感指数 11月のユーロ圏消費者物価指数速報値

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。